大賞

渋谷肥料プロジェクト ～渋谷を「消費の終着点」から「新しい循環の出発点」にシフトできないか?～

（受賞者）合同会社渋谷肥料

活動概要



「渋谷肥料」は、渋谷を「消費の終着点」から「新しい循環の出発点」にシフトできないか？という問いを掲げて2019年に誕生したプロジェクトです。渋谷から出る事業系の生ごみを肥料・堆肥化し、様々な商品・サービスに活用することで、都市における廃棄→再資源化→供給→生産→商品化→流通→販売→体験の循環に新たなモデルを確立しています。

これまで区内の様々なエリアや施設で生ごみの肥料・堆肥化を実施し、「サーキュラースイーツ®」をはじめとした製品を多数開発してきました。自社の商品だけにとどまらず、区内の飲食店様とのコラボレーションや出店などの機会を通じて、渋谷のカルチャー・地域資源と掛け合わせた商品の展開を進めています。私たちの特徴は、都市全体を物語の舞台に設計し、そこから 「美味しいお菓子」「洗練されたギフト」といった直感的な魅力を備えたアウトプットを生み出すことで、生活者の皆様に循環型社会から生まれたモノやコトを届けるクリエイティビィティにあります。また、単に廃棄物のアップサイクルにとどまらず、都市の緑化や生物多様性の促進、夏の猛暑とまちづくりの問題など、様々な事業者の皆様と共創を通じて複合的な取り組みを進めています。2025年には大阪・関西万博へも出展し、渋谷発の新しい社会モデルとして世界に発信することができました。サーキュラーエコノミー （循環経済）を地域全体のストーリー・地域資源の付加価値向上へと捉え直すことで、廃棄物の削減にとどまらない社会的な可能性を生み出しています。

大賞

渋谷肥料プロジェクト ～渋谷を「消費の終着点」から「新しい循環の出発点」にシフトできないか？～

（受賞者）合同会社渋谷肥料

ストーリーと今後の展望



【活動を始めたきっかけ】

2019年に渋谷スクランブルスクエアで開催されたアイデアソンイベントを通じて渋谷のごみ問題を調べたことがプロジェクトのきっかけです。渋谷では事業系の生ごみの排出量が一番多いとされているのですが、私たちはサーキュラーエコノミー（循環経済）の考え方に基づいて、こうしたごみを単に捨てて燃やしてしまうのではなく、皆が欲しくなるような資源に生まれ変わらせる未来を描きました。そこから、渋谷をごみが捨てられておしまいの「消費の終着点」から、大都市の特性を生かした「新しい循環の出発点」にシフトさせるというビジョンを掲げて、「渋谷肥料」プロジェクトを立ち上げました。

【受賞について・今後の展望】

私たちは”Beat Circulation”というミッションのもと、渋谷発のサーキュラーエコノミーの取り組みを世界へ広げていくことに力を注いでいきます。今回の受賞を機に、区内飲食店・事業者・団体の皆様との連携をより一層推進することで、区民の皆様が資源循環を身近に体感できる機会を増やしていきたいです。私たちは、「役に立たないよね、いらないよね、無理だよね」と思われているようなことでも、視点を変えると新しい可能性が生まれると信じています。新しいセオリーを創り続けていくことを通じて、渋谷から世界に向かって社会の旗印となるモノ・コトを展開していきます。

＜参考（URL、連絡先、関連資料など）＞

お問い合わせ先：info[at]shibuyahiryou.jp [at] 部分を@に変えてください

関連リンク：https://shibuya-qws.com/project/chapter2